

川崎市の「人」「場所」「情報」を活用した環境・まちづくり意識の普及啓発手法の構築・実践と効果検討、及び持続的展開手法・促進方策等の提案~「エネルギーまち歩きワークショップ」プログラムをツールとして~

株式会社エックス都市研究所・川崎市

対象分野

低炭素社会の構築

循環型社会の構築

自然共生型社会の構築

安心・安全で質の高い社会の構築

できずまな環境問題に対処していくためには、市民一人ひとりが環境に対する責任と役割についての 理解及び認識を深め、環境に配慮した行動を実践することが求められています。

株式会社エックス都市研究所(東京都豊島区)と川崎市は、2012年度から、エネルギーに関するワークショッププログラムを開発し、実践と効果検証を行っています。このプログラムは、ワークショップの参加者がまちをフィールドとして歩き、観察することで、地域や家庭で使われているエネルギーを自分たちの問題として捉え、課題や解決策を考える体験型プログラムとなっています。さらに、開発したプログラムを環境教育・学習に取り組む市民団体等と共有することにより、プログラムを実施する担い手の育成を目指します。

2012年度は、多摩区で大人向けワークショップを実施し、参加者とプログラムに関する意見交換を行いました。 2013年度は、こども向けワークショッププログラムの開発に重点を置き、こどもにとって最も身近な学校をフィールドとしたワークショップを川崎市立南河原小学校(幸区)にて実施しました。また、プログラムの作成においては、川崎市地球温暖化防止活動推進センターから、プログラムを実践・展開する担い手としての視点でご意見をいただきました。

今後、ワークショッププログラムの実践・展開が、市民の環境に対する意識啓発や地域社会への参画につながることを期待しています。

共同研究

川崎市の持つ資源

まちづくり、環境政策に関するデータワークショップ実施フィールドの提供 広報媒体





株式会社エックス都市 研究所の持つ資源

まちづくり、環境政策に関する基礎的知見 ワークショップの実施実績 環境教育・学習プログラムの構築手法



エネルギーワークショップ プログラムの開発・実践・展開



2012年度

ワークショッププログラムの開発

2012年11月、多摩区にてワークショップを行いました。実際にまちを歩き、省エネが可能な場所、災害時優先的に電力を供給する必要がある場所など、まちづくりの視点から、地域のエネルギーについて考えました。









完成したエネルギー活用マップ



まちを歩いて発見したことをマップに書き込みました。

こども向けワークショッププログラムの開発・実践

2013年度

2013年11月、川崎市立南河原小学校にて「エネルギー・学校歩きワークショップ」を実施しました。校内を歩いて、蛍光灯の本数等を調べました。ワークショップを通して、省エネを行うための方法について考え、実践するためにはみんなの協力が必要であることを学びました。





各教室を歩き、蛍光灯の数を 数えました。



教室ごとに蛍光灯で使用されている電気の使用量をマップにまとめました。



天秤を使って「エネルギーを 使う量」と「エネルギーを創 る量」を釣り合わせるバラン スゲームを行いました。



